

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



早期リハビリテーションの取り組みについて

急性期のリハビリテーション医療は、主に病気や事故で急激に健康が損なわれた患者さまを対象とし、救命と疾患の治療に加えて身体的・精神的機能の回復、残存した障がい克服、家庭・社会生活への復帰を目的に行います。

サポート方針の意思統一を行い、退院支援カンファレンスでは退院後の生活に向けた課題の整理と役割や目標の確認を行います。

当院ではNST（栄養サポートチーム）やCST（排泄に関するサポートチーム）、DST（認知症サポートチーム）、脳腫瘍チーム等といった組織横断的なチームで、質の高い医療の提供を心掛けています。

急性期から回復期・生活期へ

各医療機関・関連機関と連携を図り、施設間でリハビリテーションをスムーズに継続することが重要です。

当院は、院内に回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、関連機関である介護老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅診療所を有しており、よりタイムリーで多様な連携に取り組むことができます。

リハビリテーション部では入院早期からの質の高い医療を提供し、その人らしい生活への橋渡しとなるよう、より一層努力してまいります。



※嚥下障害：食物や水分を口の中に取り込んでから飲み込むまでの過程が正常に機能しなくなった状態。

リハビリテーション部 主任 酒井 広樹（作業療法士）

リハビリテーションプログラムの実際



主治医の治療方針のもと、早期からリハビリテーションの指示が出され、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハビリテーションが開始されます。

関節可動域訓練、運動療法（座位訓練、立位訓練）は発症後の間もない時期から開始します。また、早期から車椅子への移乗訓練を取り入れています。日常生活動作訓練も積極的に行われ、摂食・嚥下訓練や食事動作、尿意・便意のコントロールから始まるトイレ動作などは、最も早い時期からアプローチをします。

低栄養状態や誤嚥性肺炎の予防という観点から非常に重要である、嚥下障害*の管理も積極的に行っています。

リハビリテーションスタッフとチーム医療

急性期症状の患者さまは病状が不安定なため、様々なリスクを低減させてリハビリテーションの質を高めるために、多職種でのチーム医療によるサポートが大切です。病棟回診・カンファレンスでは病状の確認、回復に向けた治療や

「第9回 消化器センター症例報告会」開催

1月31日（木）当院にて「第9回消化器センター症例報告会」を開催し、地域医療機関の医師14名の方々にご参加いただきました。

この報告会は2016年から継続しており、病院と地域の診療について双方の医師の理解を深め、信頼関係の構築につながっていると考えております。

今回は当院の治療についてより一層ご理解いただくために、大塚外科副部長より『当院における絞扼性腸閉塞に対する腹腔鏡下手術の治療成績』をご報告させていただきました。今後も近隣医療機関と連携を強化するとともに、地域医療の質向上に向けて取り組んでまいります。





院内学術研究発表大会を開催

2月23日（土）第27回 院内学術研究発表大会を開催しました。

医療やケアの質向上に向けた日頃の取り組みや研究成果について、院内各部署と同法人であるライフプラザ新緑（介護老人保健施設）より合計12演題がケア環境の改善、診療・検査に関する業務の効率化、顧客満足度向上への検討など 様々な発表があり、医事課による「外来患者数と外来収入の傾向」が最優秀賞に選ばれました。



今後も当院の理念である「確かな医療技術、やさしい対応、地域への貢献」に基づき、職員一同、研鑽してまいります。



医療情報コーナーをご活用ください



4階外来フロア中央（20番 点滴・採血室前）に「医療情報コーナー」を設置しております。

病気や健康、そして検査や治療に対する理解を深めていただくための資料や、地域の医療機関や講座などのご案内を用意しております。病院を利用する皆さまに、より多くの情報を得てお役立ていただけたらと思います。

医療情報コーナーでは、軽食を召しあがっていただくこともできますので、お気軽にご利用ください。



3月になりました

3月といえば「弥生」ですが、陰暦の異称で「夢見月」とも呼ばれます。そこから桜は「夢見草」とも表現されます。ところで、3月27日は「桜の日」と呼ばれることをご存知でしょうか？ その所以は諸説ありますが、“3×9（さくら）＝27”から制定されたという説や、七十二候という日本や中国で古くから普及している季節の区分で3月27日は「桜始開（さくらはじめてひらく）」という季節に分類されることから桜の日になったという説があります。



卒業や転職などの転換期でもある3月という節目の月に、桜を見上げて新年度に夢を見る方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

当院から最寄りの十日市場駅までは桜並木が長く続きます。当院にいらした際は、是非桜を見上げてみてください。

2019年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

2019年3月16日（土）「ガンコな咳」 講師：横浜新緑総合病院 副院長／内科部長 堀地 直也

咳（咳嗽）は誰にでも起きる呼吸器症状ですが、最近なかなか治らない、良くなったり悪くなったりを繰り返す長く続く咳に悩まされて受診される方が増えています。



咳の原因はいろいろありますが、なかには放置しておく危険な咳もあります。

この講演では長く続く咳の原因や検査、治療、対処法などについてお話しさせていただきます。

2019年4月20日（土）「脱腸 ～意外と多い脱腸、もしかすると…～

講師：横浜新緑総合病院 消化器センター 外科副部長 平山亮一

会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分）

時間 午後1:30～2:30 問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400（代）

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

